

# ノーム通信 8 1 2003-3

〒130 0026 東京都墨田区両国4-30-4-1109

## GNOMES



毎日三ノ輪、入谷、浅草と繁華街を抜けてママチャリで通勤しているところ数年道で荒れている人が多くなっているのが目につきます。酔って暴れているのは昔からですが、しらふで目が座って暴れている人が増えているのは困りものです、ホームレスも前はそれほどではなかったものが最近はそのなが傘を振り回していたり、蹴り回ったりしていたり、怒鳴り散らして空き缶を投げながら走り去る車があったり、その反面ハト達の人なつっこさはもう完全にゴミあさりののらバトで飛ぶことも人の恐さも忘れて自転車にひかれそうになってようやく歩いてわずかにずれるという状態で、楽しんで死のうと言

うのも増えているそうだし、人もハトも別の意味で狂ってきている。多分もうちょっと先でいろいろな淘汰がおこなわれるのだろうと感じています。このごろ昔の長屋の絵本を作りかけていてその穏やかな静けさと比べるものだからよけい今の異常さが目につきます。日本人のあのやさしさはどこに消えたのか、まだ心に底に残っているのかと考えています。

狂ってきたと言えばこのところパソコンが壊れてばかりいてバラしたり組み立てたり、良いところだけ継ぎ合わせたり、初期化、インストールのやり直し、マッキントッシュとウィンドウズの平行作業など可能な事はすべてやって現有勢力で勝負をしています。10年前には徹夜でそろばんをはじいたことがうそのようです。すべて手書きだったものがいつのまにか紙と鉛筆の代わりとしてコンピュータがもの作りには欠かせなくなりました。ただどうもあのパソコンが家庭内で稼働している姿はなじめませが、今までのように考えを手書きでメモしたりスケッチしたりしてもそのまま消えてしまう場合が多いものです。コンピュータの場合はその中にスケッチブックもノートも辞書も製図板も製本機も発送のてだてもみんな入っていて、わずかな細切れの時間をみつけてやったことが確実に積み重なって絵本の一冊くらい出来ていくのです。そうになると、たとえば誰にでも一応本程度は作れるということになって良いのですが、問題なのは道具ではなくてそれをあつかう人間なのだと言うことがはっきりしてくることでしょう。コンピュータ化というのは誰でも同じ事が出来ると言うのではなく誰でも出来る単純作業をコンピュータで処理すると、コンピュータを道具として使いこなしてもっと人間らしく生きる人に別れて来そうな気がします。単純作業はそのうちコンピュータ自身がやるようになるでしょうから、本当にこれからの若い人は今まで以上に人間性を厳しく求められてきてぼーっとしてられない、しんどいことになりそうです。若くなくて良かった。そんなことをぼそぼそ言いながら今月も過ぎて行きます。

ノームはこのごろ冬ごもりです。時々来る人たちにコンピュータの使い方などを教えたりしています。コブシの花や桜の芽の膨らみに暖かさの予感を感じています。

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

TEL/FAX 03-5600-0195 高村 哲 GnomesJpn@aol.com